

ゾゾ語（若柔語）の名詞句構造

宮岸 哲也・李 紹恩

Noun Phrase Constructions in Zauzou

Tetsuya MIYAGISHI and Lǐ Shào ēn

キーワード：チベット・ビルマ語派、ゾゾ語、名詞句構造、名詞句構成要素

要 旨

チベット・ビルマ語派口語支のゾゾ語 [中国語名：若柔語，英語名：Zauzou] は、雲南省怒江傈僳族自治州の蘭坪白族普米族自治県の南端地域、並びに瀘水県の六庫瓦姑村と魯掌水利寨に居住する人口3000人余りの怒族・若柔人（蘭坪県怒族学会2016）の言語である。ゾゾ語の名詞句構造は、基本的に「〔関係節〕+〔指示／所有限定詞〕+〔形容詞〕+〔名詞〕+〔主名詞〕+〔形容詞〕+〔指示詞〕+〔数詞〕+〔類別辞〕+〔格助詞〕」の配列で各要素が並ぶ。これらの要素は、一つの名詞句の中に全てが現れるわけではなく、特に指示詞と形容詞は、主名詞の前と後のどちらかに現れる。

1 はじめに

本稿では、ゾゾ語の名詞句の構造と構成要素について詳細に記述し、チベット・ビルマ語派言語研究に対し新たな言語データを提供することを目的とする。

2 先行研究

池田 (2016) には、シナ・チベット語の 11 言語の名詞句構造について記述があり、各言語の複数表現、量化表現、所有者表現、指示表現、名詞的修飾表現、動詞的・形容詞的修飾表現の異同を調べるための貴重なデータを提供している。

ゾゾ語の名詞句構造については、包括的・体系的に記述した先行研究がなく、李, 李 (1993) と孫, 黄, 周 (2002) では、名詞句構成要素の部分的な記述に留まっている。

3 名 詞

名詞句の中心語となるのは名詞である。ゾゾ語名詞は基本的に他の品詞との形態的区別がなく、文中の語順や助詞の後置などで統語的に判断される。意味的に密接な関係にある動詞が名詞と同形である場合も、(1) のように基本語順 (OV) で判断される。なお、(2) では声調を変えて動詞と名詞を音韻的にも区別している。名詞は単独で主名詞になる。

(1) lɛ³³ zu³¹ zu³¹.

粉 種 蒔く (粉種を蒔く)

(2) vu³⁵ vu³³.

卵 産む (卵を産む)

3.1 名詞の語構成による分類

名詞は語構成から単純語と合成語に分類される。前者は音節数によらず 1 語幹である。

単音節語：nu³¹(牛), mu³¹(天), xou³¹(肉), tsou³³(飯), ye³³(水) など

2 音節語幹語：pa³¹ti³¹(虫), pha⁵⁵lo⁵³(蝶蝶), tha³¹ma³⁵(帽子) など

多音節語幹語：tei⁵³kæ⁵⁵u³¹(鳥の名前), pa³¹tchi³¹ze³¹(もじゃもじゃの髭)

など

ゾゾ語（若柔語）の名詞句構造

合成語には複数の語幹を持つ複合型と、語幹と接辞を持つ派生型がある。前者は語幹間の関係で次の4分類ができ、同じ名詞が重複する並列関係は、規模の大きさを示す。

並列関係：	khyi ³¹ ɔ ¹³	pɔ ¹³ mɛ ⁵⁵	pɛ̃ ¹³ pɛ̃ ¹³	lā ³³ lā ³³
	犬	豚(家畜)	父 母(父母)	地 地(大地) 谷 谷(溪谷)
修飾関係：	ɣe ³³ zou ³³	ɔ ³³ su ³³	teyi ³³ ka ⁵⁵	
	水 田(水田)	愚かな 人(愚人)	蠅 瘦せた(蚊)	
	[名詞 + 名詞]	[形容詞 + 名詞]	[名詞 + 形容詞]	
	tsɔ ³³ uō ¹³			
	跳ぶ 蛇(トカゲ)			
	[動詞 + 名詞]			
主述関係：	pe ¹³ zu ³¹	tsɔ ³³ mi ⁵³		
	地 揺れる(地震)	糧 炊ける(ご飯)		
客述関係：	fu ⁵³ ku ³³	thā ³⁵ xo ³¹		
	飲む もの(飲み物)	燻す 肉(燻製肉)		

派生型には、接頭辞型と接尾辞型がある。例えば親族名詞と位置名詞の各々に付く ʔa⁵⁵ と ʔa³¹ は前者を作り、雌性の mi³⁵、指小辞の ŋa⁵⁵、複数接辞の tu¹³ は後者を作る。

接頭辞型：	ʔa ⁵⁵ to ²⁴ (伯父)	ʔa ⁵⁵ za ⁵⁵ (祖母)	ʔa ⁵⁵ pɔ ¹³ (お父さん)
	ʔa ³¹ pu ³¹ (外面)	ʔa ³¹ mɔ ³³ (上面)	ʔa ³¹ mi ⁵⁵ (下面)
接尾辞型：	su ³³ mi ³⁵ (女子)	nu ³¹ mi ³⁵ (雌牛)	xe ³⁵ mi ³⁵ (漢族女性)
	mi ³³ ŋa ⁵⁵ (小衣)	su ³³ ŋa ⁵⁵ (子ども)	ʔu ⁵³ ŋa ⁵⁵ (鶏の雛)
	ze ³¹ tu ¹³ (客人たち)	teĩā ¹³ teiu ⁵³ tu ¹³ (雀たち)	

3.2 人称代名詞

人称代名詞は表1の通りである。

表1 ゾゾ語の人称代名詞

	単 数	複 数
1 人称	ŋu ³³	ŋu ³³ pe ³³ (排除型)、ʔa ³¹ pe ³³ (包括型)
2 人称	ni ²¹	ni ²¹ pe ³³
3 人称	tu ⁵⁵	tu ⁵⁵ pe ³³

4 名詞化接辞

形容詞と動詞の名詞化には接尾辞の xo⁵³、te³¹ と接頭辞の tu⁵⁵ によるものがある。(3)～(6) は接尾辞によるものである。

- (3) se⁵³ tsɛ³³ mo⁵³ kā³³ xo⁵³, i³¹ xo⁵³, zi³¹ xo⁵³,
 樹木 PL-CLF 高い NMLZ 低い NMLZ 大きい NMLZ
ŋe³³ xo⁵³ tɛ³¹.

小さい NMLZ ある

(木は高いの、低いの、大きいの、小さいのがある。)

- (4) tu⁵⁵ ʔa³¹ ŋe⁵³ ne³³ teiu³³ ʔa³¹ zu⁵⁵ xo⁵³ mie⁵⁵ ʔo³³ to⁵³.
 3SG NEG COP TOP 人 NEG 娶る NMLZ 誓う CONT
 (彼女でないなら結婚しないことを誓っている。)

- (5) tsɿ³¹ za⁵⁵ zo³¹ te³¹ ko³³ tō⁵⁵ ʔo¹³ zo³¹.
 役人 痒い NMLZ 掻く CONT SFP-PET
 (役人が痒いのを掻いていた。)

- (6) ku³¹ ei³³ tso³¹ te³¹ khe³¹ thu⁵³ zo³¹.
 9 種類 食べる NMLZ 門 出す PFT
 (9種類の食べ物を外に出した。)

tu⁵⁵ は元来 3 人称代名詞であるが、形容詞や動詞を名詞化する接頭辞にもなる。

- (7) tu⁵⁵ phu³³ vu¹³ ʔo³¹ tu⁵⁵ no⁵³ teyiu³³ tu⁵³ ʔo³¹.
 NMLZ 白い CLF DAT NMLZ 黒い 染める 出す SFP
 (白布に黒を染めよ。)

- (8) mia³¹, lo¹³ tɕ³¹, nu³¹, ʔã³³ mō⁵³ ne³¹ tu⁵⁵ pu³³ tei³⁵
 馬 騾馬 牛 DEM PL-CLF TOP NMLZ 蹴る ある
 xo⁵³ tu⁵⁵ tu¹³.
 REL DEM PL-CLF
 (馬、騾馬、牛等のこれらの動物は、蹴癩がある動物だ。)
- (9) tɕ³¹ teiã³³ su³³ za³³ tɕ³¹ teiã³³ tu⁵⁵ kua⁵⁵ teiã³³ ʔeu³³ ʔa³¹ tho⁵³.
 山 歌 人 CLF 山 歌 NMLZ 多い 歌う 終わる NEG できる
 (歌手の山歌は、その多さが、歌い終わることができないほどだ。)

5 数 詞

ゾゾ語の数詞は一万の位までは日本語と同様に 10 進法で、漢数字の体系と同様である。数だけを数える場合を除き、数詞は単独では用いず、次節の類別辞と共に用いる。

tu³¹(1), nẽ⁵³(2), sẽ³¹(3), yi³¹(4), ɲo³¹(5), kha⁵³(6), ne⁵⁵(7), za⁵⁵(8),
 ku³¹(9), tʂe³³(10), tʂe³³ tu³¹(11), tʂe³³ nẽ⁵³(12), tʂe³³ sẽ³¹(13),
 tʂe³³ yi³¹(14), næ⁵³ tʂe³³(20), yi³¹ tʂe³³(40), ku³¹ tʂe³³(90),
 zu⁵⁵(百), tʂui⁵⁵(千), tʂɥ¹³(万), mu³¹(十万)

6 類 別 辞

ゾゾ語は類別辞の種類が豊富である。有生物はその種類によって、za³³ (神・人), kō³³ (牛, 馬, 魚), ʔō³³ (牛, 馬以外の家畜, 野生動物, 昆虫, 妖怪) を使い分ける。無生物はその形状により, kha⁴² (板状物), uua⁵⁵ (片状物), ʔa⁵⁵ (棒状物), le³¹ (円状物), teio⁵⁵ (長形物), khia³³ (圈状物), te⁵⁵ (液状物), na⁵⁵ (穂状物) を使い分ける他, vu¹³ (もの, こと) や ka³³ (ところ) のように抽象的の意味を持つものもある。また, 複数接辞も数える対象によって使い分けられる点で, 類別辞の仲間に加えることができ, 人称代名詞の後にのみに付く pe³³ と, 有生物 (人名詞と動物名詞)

に付く tu^{13} と、無生物（植物名詞と物名詞）に付く mo^{53} がある。更に、有生物の群れを表す ma^{33} 、無生物が複数積まれたものを表す kua^{55} も名詞の複数を表すことができる。その他度量衡の類別辞もあるが、ここでは取り上げない。

類別辞は単独では名詞句を構成できず、名詞、指示詞、数詞の後に付けられ、指示対象の種類を補助的に示す。

類別辞を伴った派生型名詞は、(10) の類別辞がないものと比べると、指示対象の種類が明確になる。(11) の $se^{53} tse^{33}$ が樹木であることは、 tse^{33} によって明らかになる。

(10) $se^{53} khue^{31} tu^{55} vu^{13} \eta\sigma^{31} \eta u^{33} tu^{33} t\delta^{53}$.

木 割る DEM CL 2SG 1SG より 上手
(薪割はあなたが私より上手だ。)

(11) $tu^{55} ne^{31} se^{53} tse^{33} uu^{33} to^{55} zo^{35}$.

3SG TOP 木 CLF 植える CONT (彼はずっと木を植えている。)

類別辞は数詞の直後に置かれると数量詞句になる。数量詞句は、(12) のようにそれ自体が単独で名詞となるほか、(13) のように他の名詞を修飾する時には名詞に後置される。概数は (14) (15) のように表す。

(12) $mu^{35} so^{35} te^{31} ne^{55} ze^{53}$

天 造る REL 7 CLF (天を造った七神)

(13) $se^{53} tu^{31} tse^{33}$

木 1 CLF (一本の木)

(14) $ku^{31} tchu^{53} ne^{31} zu^{55} za^{33}$

おおよそ 2 百 CLF (約 200 人)

(15) $se^{53} xo^{31} mo^{13} zu^{55} tse^{33}$

木 何 数 百 CLF (数百本の木)

vu^{13} (もの、こと) や ka^{33} (ところ) のような抽象的意味を持つ類別辞は、

名詞節を作ることができる。

- (16) $\text{zu}^{53} \text{ŋa}^{55} \text{ } \underline{\text{zo}^{33} \text{tsou}^{33} \text{uua}^{33} \text{tsou}^{31} \text{vu}^{13} \text{lo}^{53} \text{ei}^{35} \text{ŋe}^{33} \text{ke}^{55}}$.
 鶏 小さい CLF えさ 啄む 食べる CLF とても 見る 良い
 (雛が餌を啄んで食べるのは、見ていてとてもかわいい。)
- (17) $\text{nu}^{31} \text{kō}^{53} \text{ } \underline{\text{xu}^{31} \text{no}^{33} \text{ } \text{te}^{53} \text{ka}^{33} \text{ } \text{pa}^{31} \text{no}^{33} \text{la}^{33} \text{teia}^{53} \text{ } \text{to}^{53} \text{zo}^{31}}$.
 牛 CLF 家畜 肉 傷つく REL CLF ただれる 尽くす PFT
 (牛の傷ついたところが爛れてしまっている)

類別辞が指示詞とともに用いられる例は、次節で取り上げる。

7 指 示 詞

7.1 直示的指示詞

ゾゾ語の直示的指示詞は、基本的に話し手・聞き手と指示物の間にある距離と高低差によって使い分けられる。高低差が関わるのは遠称を用いる時のみで、対象物が話者と同じ高さか、下方か、上方かで使い分ける。近称は話者の近くにあるもの、中称は話者からやや離れたもので、聞き手が話者からやや離れたところにおいて、そこに指示対象がある場合も含まれる。遠称は話し手からも聞き手からも遠く離れたものを指す。

表2 ゾゾ語の直示的指示詞

	近称	中 称	遠 称
平行	za^{33}	$\text{zu}^{35} (\text{zu}^{35}, \text{you}^{35}, \text{yo}^{35}, \text{zo}^{35})$	$\text{teio}^{33(55)}, \text{teio}^{33(55)} \text{teio}^{55}$
下方			$\text{mo}^{33(55)}, \text{mo}^{33(55)} \text{mo}^{55}$
上方			$\text{vou}^{33(55)}, \text{vou}^{33(55)} \text{vou}^{55}$

中称指示詞には発音のバリエーションが見られるが、意味的な違いはない。どのような基準で使い分けられるかは、不明である。

遠称指示詞は、平行、下方、上方のいずれも声調が33調、55調の場合と、それらを繰り返す場合がある。55調は33調で示した対象よりも更に遠くにある対象、指示詞の繰り返しは55調で示した対象よりも更に遠くにあ

る対象や、視覚では捉えられない曖昧な場所にある対象を指す場合に用いられる。指示詞を繰り返す回数には制限がなく、指示物が更に遠くにある場合は、繰り返す回数を増やせばよい。

直示的指示詞は、単独で名詞句にはならず、必ず名詞や類別辞とともに用いられる。そのときの語順は、指示詞の種類により異なり、以下の a) ~ c) のパターンがある。

① 近称 (za³³) と 55 調遠称 (teio⁵⁵, mo⁵⁵, vou⁵⁵)

a) 指示詞 + 類別辞

- (18) teio⁵⁵ za³³ ŋu³³ xo⁵³ei³⁵ tu⁵³.
DEM CLF 1.SG とても 嫌い (あの人が私はとても嫌いだ。)
- (19) mo⁵⁵ vu¹³ ne³¹ se⁵⁵ za¹³ ?
DEM CLF TOP 何 (あの下の方の物は何ですか。)
- (20) tshɛ¹³suo³¹ ne³¹ vou⁵⁵ ka³³.
トイレ TOP DEM CLF (トイレはあの上方のところ。)
- (21) ʔã³³ mō⁵³ ne³¹ se⁵⁵ za¹³ ?
DEM PL-CLF TOP 何 (これらは何ですか。)

b) 名詞 + 指示詞 + 類別辞

- (22) khɿ³¹ a³³ ʔō³¹ ŋã⁵³ ʔã³¹ ʔe³³ su¹³ tu⁵³.
犬 DEM CLF 吠える NEG できる ようだ
(その犬は吠えられないようだ。)
- (23) ze³³ mo⁵⁵ mo⁵³ ʔa³³ta³³ ʔu³⁵ zo³¹.
家 DEM PL-CLF 倒壊する PFT (あの下方の家々が倒壊した。)

② 33 調遠称 (teio³³, mo³³, vou³³)

c) 指示詞 + 名詞 + 類別辞

ゾゾ語（若柔語）の名詞句構造

- (24) teio³³ sɿ³³ ŋa⁵⁵ tuu¹³ nɛ³³ zao³³zou³¹tuu¹³.
 あの 子供 PL-CLF TOP 若柔 PL-CLF
 (あの子供達は若柔人である)
- (25) you³³ nu³¹ kō⁵³ ʔa³¹ zɛ¹³ zo³¹ su³¹ to⁵⁵ ʔo³⁵.
 DEM 牛 CLF ゆっくり 歩く CONT
 (あの牛がゆっくり歩いている。)
- ③中称 (ʔu³⁵, ʔuo³⁵, you³⁵, ʔo³⁵, ʔo³⁵) と重複遠称 (teio⁵⁵ teio⁵⁵, mo⁵⁵ mo⁵⁵,
 vou⁵⁵ vou⁵⁵)

a) 指示詞 + 類別辞

- (26) teio⁵⁵teio⁵⁵ mō⁵³ nɛ³¹ zao³³ zou³¹ zɛ³³ mō⁵³.
 DEM PL-CLF TOP 若 柔 家 PL-CLF
 (あれらの更に遠くの建物は若柔人の家屋だ)
- (27) nu³¹ pɛ³³ lɛ³¹ nɛ³¹ vou⁵⁵vou⁵⁵ ka³³.
 牛舎 CLF TOP DEM CLF
 (牛の囲いはあの更に上の方です。)
- (28) ʔu³⁵ za³³ nɛ³¹ xe³⁵ mi³⁵.
 DEM CLF TOP 漢族女性 (その人は漢族の女性だ。)

b) 名詞 + 指示詞 + 類別辞

- (29) mi³³ ʔu³⁵ ku³³ nɛ³¹ lo⁵³ei³⁵ phu³¹ tehia³¹.
 服 DEM CL TOP とても 高い (その服はとても高い。)
- (30) zɛ³³ mo⁵⁵ mo⁵⁵ mo⁵³ ku³³ zɛ³³su³³ za³³ ŋi¹³ to³⁵.
 建物 DEM PL-CLF 金持ち CLF 住む CONT
 (あの更に遠い下方の家に金持ちが住んでいる。)

c) 指示詞 + 名詞 + 類別辞

- (31) ŋu³³ ʔu³⁵ tso³³pā³¹ ʔu³³ ʔo³¹ ei¹³xui³¹ sua¹³.
 1 SG DEM 壁 CLF DAT モルタル 塗る
 (私はその壁にモルタルを塗る)

- (32) vou⁵⁵vou⁵⁵ ze³³ mo⁵³ ʔa³³ta³³ ʔu³⁵ zo³¹.
 DEM 家 PL-CLF 倒壊する PFT
 (あの更に遠い上方の建物が倒壊した。)

なお、数詞とともに指示詞を用いる場合は、上記のいずれの語順であっても、数詞が類別辞の前に来る。(33) は数量詞句が主名詞の一部になっているが、(34) (35) は数量詞句が主要名詞を修飾している。

- (33) ʔa³³ ne⁵⁵ ti⁵⁵ ne³¹ xou³¹tei³¹.
 DEM 2 CLF TOP 肉 新鮮な (この二塊は新鮮な肉だ。)
- (34) mia³¹ʔuo³⁵ ne⁵³ kō³³ ta³⁵ to⁵⁵ʔo³⁵.
 馬 DEM 2 CLF 走る CONT
 (その二頭の馬がずっと走っている。)
- (35) ʔuo³⁵ sɿ³³ŋa⁵⁵ ne⁵³ zɿ⁵³ ne³¹ lo⁵³ei³⁵ ŋe³³ ke⁵⁵.
 DEM 子供 2 CLF TOP とても 綺麗な
 (その二人の子供はとても綺麗な。)

7.2 前方照応的指示詞

tu⁵⁵ と tu⁵⁵ は単独では、三人称の人称代名詞として用いられるが、名詞や類別辞の前に付くことで、前方照応的な指示詞になることができる。なお、tu⁵⁵ は有生・無生を問わず用いられるが、tu⁵⁵ は人にのみ用いられる。

- (36) tu⁵⁵ ne³¹ ze³³su³³ tu¹³ kē⁵⁵ khu³¹su³³ pa⁵³, na⁵⁵ kho¹³su³³
 3SG TOP 金持ち PL-CLF だけ 盗み する 貧乏人
 tu¹³ ze³³ ne³³ ʔa³¹ nu³³. tu⁵⁵ vu¹³ pu¹³te³¹, na⁵⁵kho¹³su³³
 PL-CLF GEN TOP NEG 必要 DEM CLF 理由 貧乏人
 tu¹³ ne³¹ tu⁵⁵ ʔo³¹ pō³³ mu³³.
 PL-CLF TOP 3SG DAT 助ける
 (彼は金持からのみ盗み、貧者の物は盗まない。それが理由で貧者は彼を助ける。)
- (37) ei³¹te³³ ʔa³³va⁵³ ne³³ tu⁵⁵ le³¹ ta⁵³ pi¹³ te³³ zo³¹.
 桃の木 今年 TOP DEM 実 付ける 与える 達する PFT
 (桃の木が今年には実をつけてくれた。)

- (38) tu⁵⁵ tei³¹ te³³ ne³³ η³¹vu¹³ mu³³ to³⁵ pi¹³.
 DEM 時 達する TOP 仕事 する 始める 与える
 (その時間になったら、仕事をしはじめて下さい。)

8 疑問詞

ゾゾ語の疑問詞として、xo⁵⁵ と se⁵⁵za¹³ の二種類がある。

8.1 xo⁵⁵ の意味と用法

xo⁵⁵ は類別辞や名詞の前に付け、「だれ」「どこ」「どの」等の疑問代名詞をつくる。

- (39) xo⁵⁵ za³³ la¹³ ɔ⁵³ye³³ phe⁵³ lo³¹ ni?
 どの CLF 山 上 水 引 行く SFP
 (誰が山に水を引きに行きますか。)
- (40) η³¹ xo⁵⁵ ka³³ zi³³?
 2SG 何 CLF 行く (あなたはどこに行きますか。)
- (41) η³¹ ne³¹ xo⁵⁵ ɔ³³su³³?
 2SG TOP 何 村 人 (あなたのどの村の人ですか。)

また、xo⁵⁵ の後に複数接辞の mo⁵³ がついた形式は、数量に関する疑問詞を作ることができる。この形式の後に、類別辞や名詞を付けることで、数える対象が明示される。

- (42) η³¹ za³³ku⁵⁵ze³³su³³ xo³¹mo⁵³ za³³?
 2SG 家 中 家 人 幾 PL-CLF CLF
 (あなたの家族は何人ですか。)
- (43) ɔa³³ vo³⁵ xo³¹mo⁵³ tcha³¹pe³³?
 DEM CLF 幾 PL-CLF お金 (これはいくらですか。)
- (44) η³¹ xo³¹mo⁵³ va³⁵ zo³¹?
 2SG 幾 PL-CLF CLF PFT (あなたは何歳ですか。)

8.2 se⁵⁵za¹³ の意味と用法

se⁵⁵za¹³ は、単独で用いられ、日本語の「何」に相当する意味を表す。

- (45) ηɔ³¹ se⁵⁵za¹³ mu³³?
 2SG 何 する (あなたは何をしますか)
- (46) ηɔ³¹ mi³³ko³¹ se⁵⁵za¹³ khu³³?
 2SG 名前 何 呼ぶ (あなたの名前は何と言いますか)

se⁵⁵za¹³ は、更に名詞の前にも付いて名詞を修飾することができる。

- (47) ηɔ³¹ se⁵⁵za¹³ ηɔ²¹ mu³³?
 2SG 何 仕事 する (あなたは何の仕事をしますか)
- (48) ηɔ³¹ se⁵⁵zã³⁵ tã³¹mi³¹ teio¹³?
 2SG 何 問題 ある (あなたは何の問題がありますか)

9 所有者表現

属格助詞 ze³³ は、[所有者 + ze³³ + 物] の形で所有者表現を作るが、省略されることが多い。

- ηu³³(ze³³) tche⁵³ li³¹lao³¹sɿ³¹(ze³³) zou³³ mō⁵³
 1SG GEN 山羊 李 先生 GEN 土地 PL-CLF
 (私の山羊) (李先生の土地)
- zao³³zou³¹tu¹³ (ze³³) tshɿ³¹ɔ¹³
 若柔 PL-CLF GEN 踊り
 (若柔人の踊り)

ze³³ の後に来る所有物を表す名詞が省略される場合と、所有者が誰であるのかを強調する場合には ze³³ が必須である。なお、強調される場合は対比的な意味が含まれる。

ゾゾ語（若柔語）の名詞句構造

- (49) za³³ko³¹ ze³³ mia³¹ kha⁵³ ne¹³, ŋu³³ ze³³ za³¹ ne¹³.
 兄 GEN ナイフ CLF 鋭い 1SG GEN NEG 鋭い
 (兄のナイフはよく切れるが、私のはあまり切れない。)

[所有者 + ze³³] がとる所有物には人が含まれない。人の場合は、ze³³の代わりに3人称代名詞名詞のtu⁵⁵を用いるが、省略もできる。tu⁵⁵は所有物でもそれ以外でも用いられる。

- (50) ŋu³³ ke¹³ za³³ (tu⁵⁵) xue³³ za³³
 1SG 弟 CLF DEM 友 CLF (私の弟の友人)
 (51) mo⁵³ tshɛ¹³ to³¹ ŋe³¹ so³¹ kue¹³ zu⁵³ mi⁵³ tu¹³ (tu⁵⁵) tsu³¹ te¹³
 毛沢東 TOP 中国 人民 PL-CLF DEM 指導者 大きい
 za³³.
 CLF (毛沢東は中国人民の偉大な指導者だ。)

10 名詞的修飾表現

ここでは所有関係を除く名詞的修飾表現を扱う。基本的に修飾名詞は助詞を伴わない。

- | | | |
|---|---|---|
| <u>ue⁵⁵ kue¹³ tsha³³ po¹³</u> | <u>me³¹ kue⁵⁵ ŋe⁵³ zo¹³</u> | <u>tei³¹ tei⁵⁵ ɕiu¹³ mu³⁵ ɕi³³</u> |
| 外国 本 | 米国 煙草 | 経済学 教師 |
| (外国の本) | (米国の煙草) | (経済学の教師) |
- si³³ ŋa⁵⁵ tsha³³ pu¹³
 子供 本
 (子供用の本)

- (52) li³¹ lao³¹ ɕi³¹ ne³¹ ŋu³³ pe³³ zɿ³¹ su³¹ xue³³ za³³
 李 先生 TOP IPL 医者 友人
 (李先生は私達の医者の[である]友人だ。)
- (53) zao³³ zou³¹ tu¹³ mu³¹ ɣa¹³ mo⁵³ xo⁵³ ɕi³⁵ ŋi³³ ke⁵⁵.
 若柔 PL-CLF 日 PL-CLF とても 過ごす よい
 (若柔人の日々はとても過ごしやすい。)

11 形容詞的修飾表現

形容詞が主名詞を修飾する場合、形容詞の位置は名詞の前と後のどちらにも来る可能性がある。形容詞は関係節標識 $x\alpha^{53}$ を伴う場合もあり、形容詞の意味を強調する。

$xu^{31} \text{teh}^{33}$ teh^{33} xu^{31} teh^{33} $x\alpha^{53}$ xu^{31}
 肉 美味しい 美味しい 肉 美味しい REL 肉
 (美味しい肉) (美味しい肉) (美味しい肉)

(54) $z\alpha^{53} z\alpha^{13} x\alpha^{53}$ $s\eta^{33} mi^{13} z\alpha^{31}$ $z\alpha^{33}$ $z\alpha^{33}$ $kh\epsilon^{35}$ $m\delta^{35}$ pe^{31} $mi^{13} z\alpha^{31}$?
 美しい REL 少女 DEM CLF 誰 家 PL-CLF 娘
 (この美しい少女はどこの家の娘だ。)

(55) $z\alpha^{33}$ ka^{33} $th\alpha^{31}$ $m\alpha^{35}$ $\eta\epsilon^{33}$ $ke^{55} x\alpha^{53}$ se^{33} le^{31} teh^{35} .
 DEM CLF 帽子 美しい REL 3 CLF ある
 (ここに美しい帽子が三つある。)

複数の形容詞が名詞を修飾する場合は、関係節標識 $x\alpha^{53}$ を伴う。始めの形容詞に着く $x\alpha^{53}$ は省略可能である。

(56) $z\alpha^{53} z\alpha^{13}$ ($x\alpha^{53}$) tey^{53} $x\alpha^{53}$ $z\alpha^{33}$ xua^{31}
 美しい REL 賢い REL 阿花 (美しくて賢いアファ[人名])

なお、数量の範囲を表す量化表現としての形容詞は、名詞の後にのみ来る。

ei^{31} $ka^{53} no^{13}$ ei^{31} $ka^{53} \eta\delta^{33}$ ei^{31} $tur^{31} \text{teh}^{35}$ xu^{33} ei^{31} mi^{53} tur^{55} ka^{33}
 桃 沢山の 桃 少しの 桃 全ての 桃 ほとんどの
 (沢山の桃) (少しの桃) (全ての桃) (ほとんどの桃)

12 動詞的修飾表現

動詞句は関係節接辞の $x\alpha^{53}$ か te^{31} を伴って関係節となり、名詞の前に置かれる。

- (57) $za^{33} \text{pao}^{13} \text{pi}^{13} \quad x\alpha^{53} \text{tsha}^{33} \text{pu}^{13}$
 父 与える REL 本 (父がくれた本)
- (58) $nu^{31} \text{tu}^{33} \text{ka}^{33} \text{pi}\alpha^{33} \text{te}^{31} \quad \eta\alpha^{33} \alpha\alpha^{33}$
 空 上 CLF 飛ぶ REL 鳥 CLF (空を飛ぶ鳥)

また, tu^{55} + 類別辞の形式は、関係節接辞を伴わず動詞句を直接受ける。

- (59) $u\alpha^{13} \alpha\alpha^{33} \text{ne}^{31} \text{ko}^{53} \quad \gamma\alpha^{33} \text{wu}^{55} \text{tu}^{55} \alpha\alpha^{33}$.
 蛇 CLF TOP 冷たい 季節 避ける DEM CLF
 (蛇は冬を避ける動物だ。)
- (60) $za^{31} \text{pe}^{33} \text{z}\alpha^{33} \alpha\text{ui}^{33} \text{tu}^{55} \text{tu}^{13} \quad \alpha\alpha^{31} \text{xu}^{33} \text{teiu}^{55} \text{z}\alpha^{33}$.
 1PL 卒業する DEM PL-CLF DAT 歓送する 行く
 (私たちは卒業するその人たちを送りに行く。)
- (61) $\text{tu}^{13} \text{e}\alpha^{33} \text{za}^{33} \text{tei}\alpha^{33} \text{khu}^{33} \text{tu}^{55} \text{k}\alpha^{31} \quad \eta\alpha^{33} \text{z}\alpha^{33} \alpha\alpha^{31} \alpha\alpha^{33}$.
 祭司 CLF 魂 呼ぶ DEM CLF 1SG 学ぶ NEG できる
 (祭司が神を呼ぶその調べを私は学ぶことができない。)

13 おわりに

以上、ゾゾ語の名詞句を構成する各要素について見てきたが。これらの全体的構造をまとめると図1になる。主名詞を中心に各要素がこの配列で現れるが、全ての要素が一つの名詞句内に現れることはない。主名詞の前後の現れる指示詞と形容詞は、いずれもどちらか一方にのみ現れる。また、既に述べた通り、主名詞が現れず指示詞や数詞などが付いた類別辞が中心語を構成する場合もある。(62)～(64) は、それぞれ [関係節+形容詞+主名詞+指示詞+類別辞]、[関係節+所有限定詞+主名詞+形容詞+数詞

+ 類別辞], [関係節+指示詞+名詞+主名詞+数詞+類別辞] で構成された名詞句である。なお, 名詞句構造の最後に来る格助詞については, 宮岸・李 (2017) を参照のこと。

関係節	指示 / 所有限定詞	形容詞	名詞	主名詞	形容詞	指示詞 / 疑問詞	数詞	類別辞	格助詞
-----	------------	-----	----	-----	-----	-----------	----	-----	-----

図1 ゾゾ語の名詞句構造

- (62) ʔa³³ xua³¹ khu³³ xɔ⁵³ za⁵³ ʔu¹³ xɔ⁵³ sɿ³³ mi¹³ zou³¹ ʔa³³ za³³
 阿 花 呼ぶ REL 美しい REL 少女 DEM CLF
 (アファというこの一人の美しい少女)
- (63) fe³¹ fe³¹ khu³³ xɔ⁵³ ŋu³³ ze³³ khyi³¹ ŋa⁵⁵ tu³¹ ʔɔ³¹
 菲 菲 呼ぶ REL 1SG GEN 犬 小さい 1 CLF
 (フェイフェイという私の一匹の小さい犬)
- (64) ʔa³³ me³¹ khu³³ xɔ⁵³ ʔu³⁵ ve³¹ zo³³ zɿ³¹ tu³¹ za³³
 阿 美 呼ぶ REL DEM 遠方 客 1 CLF
 (アミというその一人の遠方の客人)

略語

1SG: 1人称単数代名詞, 1PL: 1人称複数代名詞, 2SG: 2人称単数代名詞, 3SG: 3人称単数代名詞, ABL: 奪格, CLF: 類別辞, CONT: 継続相, COP: コピュラ, DAT: 与格 / 対格, DEM: 指示詞, GEN: 属格, NEG: 否定辞, NMLZ: 名詞化接辞, PFT: 完了相, PL-CLF: 複数類別辞, REL: 関係節接辞, SFP: 終助辞, TOP: 主題標識

追記

本稿は, 平成 29 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (c) (一般)) 課題番号 16K02651, 研究課題「ゾゾ語 (若柔語, Zauzou) 授与動詞構文の記述研究 - 類型的特徴の分析に向けて -」の研究成果の一部を纏めたものである。

参 考 文 献

- 池田巧編 (2016)『シナ＝チベット系諸言語の文法現象 1：名詞句の構造』京都大学
人文科学研究所
- 孫宏開，黃成龍，周毛草 (2002)『柔若語研究』中央民族大学出版社
- 宮岸哲也，李紹恩 (2016)「ゾゾ語（若柔語）における有生性の関与」『安田女子大
学大学院紀要』第 21 集
- 宮岸哲也，李紹恩 (2017)「ゾゾ語（若柔語）江末方言の格体系」『安田女子大学大
学院紀要』第 22 集
- 蘭坪県怒族学会編 (2015)『走近怒族支系若柔人』蘭坪県怒族学会
- 李紹恩，李志恩 (1993)『怒族若柔語言資料集』雲南民族出版社

